



らんざん



写真提供：内田泰永 氏

嵐山を象徴する国立女性教育会館

令和5年
第4回定例会

傍聴者
62人

- ◆ 議員の抱負と意気込み P 2~ 5
- ◆ 国立女性教育会館の存続を要望する意見書 P 5
- ◆ 第4回定例会報告 P 6~ 7
- ◆ 一般質問12人が町政を問う P 8~19
- ◆ 傍聴者の声/議会モニター募集ほか P20

議員が編集した手づくり議会だよりです。こちらからご覧になれます。⇨



議員の4年間の 抱負と意気込み!!

議員13人を紹介（議席順）



みやもと だいゆう
宮本 大裕 (56歳)
平澤 1期

『嵐山町だいかいけん
嵐山町でこがむなつ
町づくり』
子どもを大事にするところには
未来があります。
嵐山町で育った子どもたちが
「こがむなつをしよう」と思え
る様な、嵐山が特別な場所であっ
てほしい。
嵐山は、心と体を癒してくれる、
豊かな自然にとても恵まれていま
す。
「こがむなつ来ればみんな元気にな
れる」。子どもたちに、この嵐山
の宝を活用した、最高の生活環境
を整えてあげたい。
町民皆さんの思いをお聞かせく
ださい。《人が宝の町》をみんな
の力で実現しましょう。
「民は国の本、吏は民の雇」を
肝に銘じ、嵐山町のため、ここで
共に生きる皆さんのために、使命
を果たして参ります。よろしくお
願いいたします。

目指す5つの目標



子ども真ん中

子ども真ん中
「子ども基本法」の理念
を生かした町づくり。
人にやさしい
子育て支援や高齢者、障
がい者福祉が充実した、
支え合いの町づくり。
元気な町
駅西口通り周辺賑わい創
出。豊かな自然と歴史資
源を活かした観光の町づ
くり。



いずもり かつよし
狩守 勝義 (71歳)
千手堂 2期

～笑顔あふれるまちに 豊かな未来を～

誰もが生き生きと活躍できるコ
ミュニティづくりを推進します。

地域の産業と里山の豊かな未来を
推進します。

「健全な財政」によるバランスの
とれた安全・安心で豊かな生活の
実現を目指します。

子育てと健康を守るまちづくり
を推進します。

文化スポーツ活動の環境改善と文
化財の保護・活用を推進します。



こばやし さとし
小林 智 (69歳)
吉田 2期

未来に希望のもてる嵐山町を！

- 小規模校や少人数教育の良さを生かした教育を
- 子育てしやすい町に。人口減少にストップを
- 誰もが安心して暮らせる町に。
高齢者に優しい町に！ 困ったときには助けてくれる町に！
- 自然や住環境をまもる町に
- 観光で町おこしを
- 農業の発展・農村地域の活性化を
基幹産業の農業・自然や里山の景観・安全安心の食づくりが町の
活力の源泉！



ふじの かずみ
藤野 和美 (72歳)
吉田 2期

さとう弘美 3つの方針

- 一、地元住民の同意なき《大規模太陽光発電施設》建設に反対します
- 一、何歳になっても活躍できる嵐山町の農産物を活かした
【地産地消】の《農業レストラン構想》の実現を目指します
- 一、「飼い主のいない猫対策事業」の拡充を
嵐山町における「人と動物の調和ある共生社会の実現」を目指
します

新人として皆さまの声を常に謙虚に伺って参ります



さとう ひろみ
佐藤 弘美 (46歳)
古里 1期

ビジネスで嵐山町に貢献したい！

～嵐山の皆さまへ～
嵐山の皆さま、はじめまして。
平澤に住んでおります、竹内たかひと申します。
私の生まれは福岡県ですが人生の約半分の期間、東武東上線沿線で仕事をし、
縁あって嵐山に住んでおります。
私は多くの嵐山の方と同じように、親族に政治家はおりません。
そのため、一般的な目線を持っています。また、これまでの飲食店レジャー
施設の経営で培った力をまちづくりに活かしていきたいと考えています。
「まちを元気にしたい！」嵐山の皆さまの声を聞かせてください。



たけうち たかひ
竹内 隆哲 (50歳)
平澤 1期

小さな町だからこそ出来ることがある 嵐山町に元気とワクワクを！

子ども達が地域に関わりながら成長できる町
高齢者や障がい者も、みんなが共生できる町
人に優しい、人が集まる町

選挙ドットコムHP・ブログ

6
人子育て中の
パワフル父ちゃん！
猫も4匹！
つくろう、
新しい答え。
国民こく
民主民みん

- ♠プロフィール
・1977年3月15日生まれ
・卒業後5年間 板前修業
・2004年転職を機に嵐山町へ移住



はしもと まさひろ
橋本 将 (46歳)
川島 1期

健康ファースト嵐山町・健康寿命の延伸 少子高齢化・人口減少社会への対応

- ☆ 高齢者が生きがいの持てる町づくり
 - ・健康寿命の延伸
 - ・高齢者の外出を支える地域交通対策を推進
- ☆ 若い世代が定住・移住を望む町づくり
 - ・結婚、出産、子育て、教育支援で子供を産み、育てやすい環境づくりの推進
- ☆ 学校教育環境の構築で特徴ある町づくり
 - ・地域交通対策を絡めた独自性のある町づくりを推進
- ☆ 地域産業の活性化による稼げる町づくり
 - ・産業、観光で稼げる町づくり、商業・農業分野の地元消費施策の推進
- ☆ 人にやさしい暮らしやすい町づくり
 - ・安全・安心な町づくり、歴史と豊かな自然保全、地域コミュニティの充実




よしもと しゅうじ
吉本 秀二 (72歳)
平澤 2期

「今日も生きていてよかった」と
思うことのできる人づくり郷土づくり

青柳けんじの「6つの約束」

誰もが“生きがい”と“希望”を持てる町づくりや人材育成
町内小中学校再編の早期実現
町の財源確保、雇用増加及び地域活性化
～川島地区の産業団地、道路の整備～
高齢者と子供達の橋渡し 居場所づくり
地域住民による移動の早期実現 ～川島モデル～
天沼の公園化 整備の実現




あおやぎ けんじ
青柳 賢治 (71歳)
川島 5期

明るく活気あるまちづくり！

地域公共交通推進
地域における、町民すべてが
利用しやすい交通の推進

「子ども若者会議」の設立
子ども・若者の声を町政に
届ける取り組み

DX・デジタル化推進
「行かない窓口」を推進
行政サービスを改善し利便性の
向上に取り組みます

空き家の発生防止と
利活用の推進
「空き家発生を減らす」「空き
家を有効利用」の取り組み

はたけやま美幸
4つの挑戦



はたけやま みゆき
畠山 美幸 (60歳)
広野 5期

学校統合、今は進めることに反対

少子化がこのまま進めば、どこかの段階で学校統合はあり得る。が、菅谷小の一部で35人学級になっているが、他は各教室ともに少人数学級ができており学ぶのにたいへん良い教育環境だと言える。良い教育環境はできるだけ長くつづけることが大事。

ラベンダー園は赤字事業体、将来廃止を

ラベンダー園（千年の苑）は町が補助金を出さなければつづけられない事業である。ただ、今やめると補助金返還が求められるため返還義務が終了した後、廃止が妥当と考える。

災害に強い嵐山町に 地域公共交通の整備 教材費補助の復活
学校給食費の完全無償化 地場産を活用した食育の推進



かわぐち ひろし
川口 浩史 (68歳)
菅谷 8期



しぶや とみこ
渋谷登美子 (72歳)
千手堂 9期

実現していきます

嵐山町から気候変動を抑止します。

地域の未来は地域で話し合って決める制度を働きかけます。

子どもの権利条例を作ります。

病院と病院をつなぐ幹線路線バス、ドアからドアのデマンド交通で医療・買い物物の安心できるまちづくりを働きかけます

子どもも大人も高齢者も障がいのある人もまぜこぜで幸せ感のある空間を作ります。

学校給食に嵐山町有機野菜・有機米を取り入れるように働きかけます。

町民に寄り添う議会に変革を求めていきます。



【住んで良かった！住んで良かった！ 嵐山町の実現のために!!!】

- ◎安心・安全な町づくりの推進！
- ◎更なる観光・商工業の発展を推進！
- ◎子育てしやすい町づくりと地域づくりを推進！



もり かずひと
森 一人 (48歳)
平澤 4期

国立女性教育会館の存続を要望する意見書を提出

11月29日、内閣府男女共同参画局担当他が来庁し、「国立女性教育会館は閉鎖」という説明があった。12月8日、議員全員協議会において町よりその報告を受け、議会はただちに協議し、国立女性教育会館の存続を求める意見書を全会一致で提出した。

意見書（要約）

国立女性教育会館は、嵐山町を象徴するシンボリックな機関であり、幼児から高齢者まで幅広く様々な形で利用させて頂いている大切な施設機関です。町議会としては、これからも国立女性教育会館の存続を強く願い、下記について要望致します。

- 1 現状どおり、国立女性教育会館として継続すること。
- 2 1が叶わない場合には、今までどおり国管理のもと、将来的に公園化できるように望みます。



提供：国立女性教育会館

提出先 文部科学大臣、内閣府特命担当大臣

地方自治法第99条の規定により、国（県）への要望・意見を、意見書として提出することができます。今定例会では1件の意見書が可決されました。

令和5年 第4回定例会 (11月30日～12月8日)

物価高騰に対応し 町民生活を支える補正予算

令和5年度一般会計補正予算
一般会計歳入歳出 3億9574万円を追加
歳入歳出予算総額 76億2978万円に



第4回定例会 町長提出議案審議結果



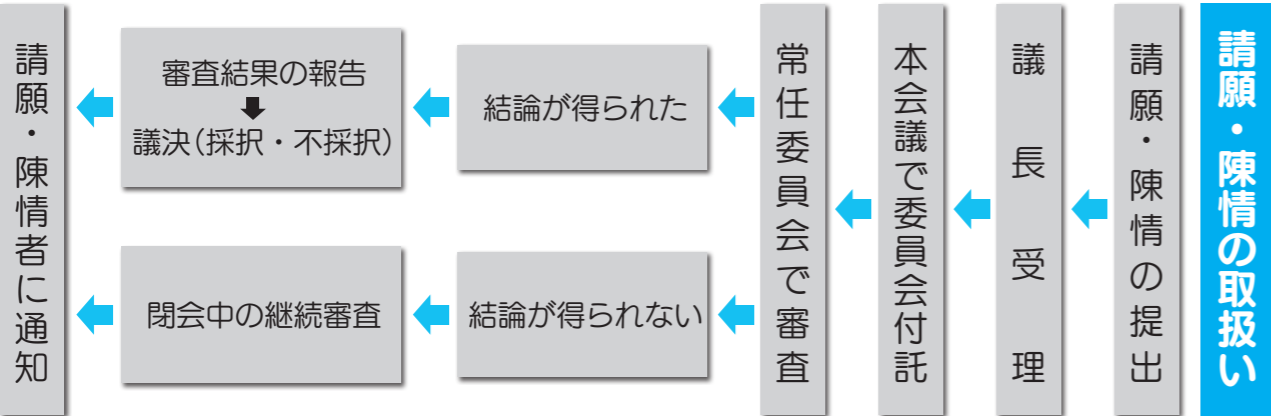
議案番号	賛否の分かれた町長提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議結果	森一人	渋谷登美子	川口浩史	島山美幸	青柳賢治	吉本秀二	藤野和美	小林智	狩野勝義	宮本大裕	橋本将	竹内隆哲	佐藤弘美	
議案第44号	嵐山町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×
議案第45号	嵐山町特別職の給与等に関する条例の一部を改正することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×
議案第46号	嵐山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×
議案第47号	嵐山町国民健康保険税条例の一部を改正することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×
議案第52号	令和5年度嵐山町一般会計補正予算(第6号)議定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×

議案番号	全員賛成の町長提出議案	議案番号	全員賛成の町長提出議案
議案第42号	嵐山町一般職員の給与に関する条例の一部を改正することについて	議案第53号	令和5年度嵐山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)議定について
議案第43号	嵐山町一般職の任期付職員等の採用等に関する条例の一部を改正することについて	議案第54号	令和5年度嵐山町水道事業会計補正予算(第2号)議定について
議案第48号	嵐山町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正することについて	議案第55号	令和5年度嵐山町下水道事業会計補正予算(第2号)議定について
議案第49号	嵐山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	議案第56号	町道路線を廃止することについて(公共用地使用申請)
議案第50号	嵐山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	議案第57号	令和5年度嵐山町一般会計補正予算(第7号)議定について
議案第51号	嵐山町企業誘致条例の一部を改正することについて	議案第58号	令和5年度嵐山町水道事業会計補正予算(第3号)議定について

議案番号	議員提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました。	審議結果	森一人	渋谷登美子	川口浩史	島山美幸	青柳賢治	吉本秀二	藤野和美	小林智	狩野勝義	宮本大裕	橋本将	竹内隆哲	佐藤弘美
請願第2号	脱炭素、脱原発と再生可能エネルギーへの転換の加速を国に求める意見書の提出を求める請願	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
発議第12号	被保険者視点による持続可能な国民健康保険制度の確立を求める意見書の提出について	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
発議第13号	「人道的休戦」を求める決議に棄権した日本政府の賛成を求める意見書の提出について	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
発議第14号	国立女性教育会館の存続を要望する意見書の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します(「裁」と記載)。

議員提出議案



主な歳入

町税
固定資産税の調定見込額の増加
1億4331万円

国庫支出金
・障害児通所支援事業費負担金 障害児通所支援事業の利用者の増加 333万円

寄附金
一般寄付金・ふるさと納税 3053万円

ふるさと納税増額
評価は

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額については実績として

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額はふるさと納税増額の増加のため

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額はふるさと納税増額の増加のため

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額はふるさと納税増額の増加のため

主な歳出

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額はふるさと納税増額の増加のため

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額はふるさと納税増額の増加のため

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額はふるさと納税増額の増加のため

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額はふるさと納税増額の増加のため

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額はふるさと納税増額の増加のため

ふるさと納税増額
ふるさと納税増額はふるさと納税増額の増加のため

議案第47号 国民健康保険税条例の一部改正

●産前産後期間相当分における国保税の免除
●保険料率の見直し
●統一に向けた保険料率の見直しを図るもの
所得割は0.6%、均等割は1万円それぞれ引き上げられ、所得割11.6%、均等割6万2000円となる。

議案第51号 企業誘致条例の一部改正

●産前産後期間相当分における国保税の免除
●保険料率の見直し
●統一に向けた保険料率の見直しを図るもの
所得割は0.6%、均等割は1万円それぞれ引き上げられ、所得割11.6%、均等割6万2000円となる。



川口 浩史 議員

学校統合後の教員は現在より何人減るのか

答 小学校13人、中学校は3人少なくなる見通し

現在は、ほとんどが少人数学級だ。これができるだけ長くが本当ではないか。

問 基本計画案に「少人数だと社会性の育成不足が生じる」とある。根拠は。

答 教育総務課長 多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約があるからである。

再問 七郷小は少ない学級もある。社会性の育成不足がみられるのか。

再答 教育長 教員の努力によって社会性の育成不足は見られない。

問 複式学級の捉え方は。

答 教育総務課長 多面的に考える機会が少なく、活発な討議がされにくいと言ったデメリットがある。

再問 和歌山大学の久保「ある条件の下では高い教育力を発揮する」と述べている。複式学級を悪いイメージで捉えるべきではない。多面的に考えることができないう決めたつてい

再答 教育長 人数が少なくなると学び合いの機会や合意形成の取り方を学ぶことが難しくなる。

再問 教育長 人数が少なくなると学び合いの機会や合意形成の取り方を学ぶことが難しくなる。

再答 教育長 いじめ・不登校はどの学校でも起こりうる。大規模校より小規模校の方

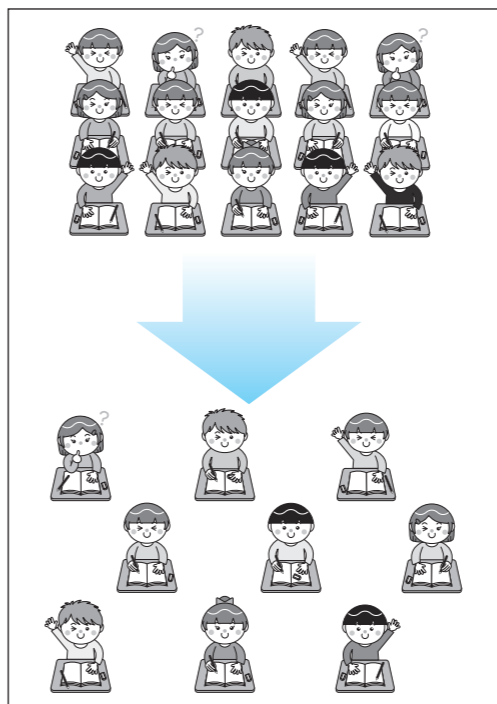
3人だが確定的なものではない。

再問 教員が少なくなるということは、それだけ子どもたちに向き合える時間も減り、学習面だけでなく、いじめや不登校も増える

再答 教育長 人数は公表出来ないが「極めて少ない」とだけ申し上げる。

再問 一人ひとりの子どもたちを、しっかりと見られるから少ないのだ。少人数の方が良いのではないか。

再答 教育長 いじめ・不登校はどの学校でも起こりうる。大規模校より小規模校の方



少人数学級は子ども一人ひとりに教師の目が行き届く

が絶対数は少なくなる。

学校給食費、第二子まで無償化

問 第二子まで無償化の考えは。

答 教育総務課長 現在、第二子は半額である。全額無償化すると、更に450万円の予算がかかる。今後学校再編でたくさん費用がかかるため、現状のまま進めていきたい。



畠山 美幸 議員

不登校支援にメタバース教室の導入を

答 既存のメタバース教室（N-Joinアカデミー）を活用したい

さいたま市では不登校の中学3年生主員が高校進学をしました

問 全国で不登校の児童生徒が急増している。その中、メタバース空間を利用した取り組みを本町や広域で考えては。

答 教育総務課長 現在、町の不登校児童・生徒への支援体制は、学校に登校できる児童生徒は、保健室・相談室や教員免許を有する支援員で学習支援対応を行っている。学校に登校できない児童生徒に対しては、スクールソーシャルワーカーや担任の家庭訪問、オンライン学習の

提供、嵐山町子ども家庭支援センター、小川町広域適応指導教室との連携等の支援を行っている。現在、町独自ではさいたま市のようメタバース教室の構築はしていないが、既存のメタバース教室（N-Joinアカデミー）を活用する児童生徒が生じた場合には、出席の扱いを含め、適切に対応したいと考えている。今後も一人でも多くの児童生徒に学習の機会や居場所の提供をしていく。

学校統合による指定業者の今後について

問 小・中学校の体操着等を販売している

る指定業者に、学校統合の情報開示と今後の運用について、早い段階で意見交換の場が必要と思う。考えは。

答 教育総務課長 体操着などの販売する指定業者の方は、学校再編により販売品が今後どのように変更なるのか、在庫管理等に不安を感じている状況と思う。学校統合について積極的に広く情報提供していくことで、販売店には適切な在庫管理を、そして、保護者には購入に際して不便が生じないよう配慮していく。

電子回覧板について

問 導入の考えは。

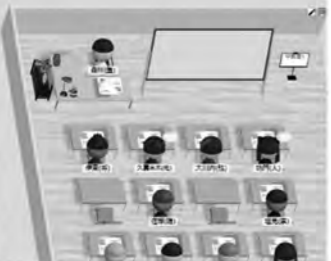
答 地域支援課長 来年度の区長会にて電子回覧板や掲示板等紹介し、感触を見たい。

屋根のある公園について

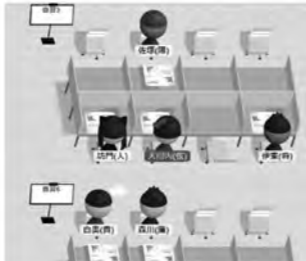
問 設置の考えは。

答 まちづくり整備課長 屋根等の設置は費用がかかるので、検討していない。強い要望のある大型遊具の充実を優先したい。

【一斉学習の様子】



【個別学習の様子】



提供:さいたま市教育委員会事務局「不登校等児童生徒支援センター (Growth)」

※メタバース教室とは仮想空間の中に学校をつくり、そこへ登校して授業を受けたり、学校の活動を行うシステム。

【その他の質問事項】
◆選挙後の防災無線の運用・選挙看板について



議員 勝義 伏守

「子どもの「ヒヤリハット」が事故につながるような安全教育の徹底を…」

消防団の災害時の活動は

答 消火活動や住民の救助活動等が主な任務

回の定例訓練（消防車の点検と消防技能の上達）と火災予防活動（地域への巡回）である。また、10月からは特別点検に向けた訓練も始まる。大雨・台風・地震などの災害発生時は、消火活動に加えて住民の救出・救助活動や避難誘導などが主な任務となる。

4年44人・5年39人、そのうち中学生以下の負傷者3年5人・4年1人・5年0人である。
問 交通事故危険箇所
の把握状況は。
答 地域支援課長 通
学路ではPTAから要望書や点検報告書を
をいただいている。本
年は菅谷小中PTAと
七郷小PTAから要望
があった。地域支援課
まちづくり整備課・教
育委員会と協議して対
策を講じていきたい。



サビが酷い標識=R5.11.12

子どもの交通安全対策について

問 町の交通事故の状況は。
答 地域支援課長 令
和3年から本年9
月末時点の交通事故件
数は、人身事故3年34
件・4年39件・5年34
件、負傷者3年44人・

問 交通安全教育の実
施状況は。
答 教育総務課長 小
・中学校では小川
警察署や埼玉県警と連
携した交通安全教室
DVDを活用した安全
指導や安全点検、幼稚

園では企業と連携した交通安全教室を実施している。保育園では、小川警察署や交通安全まなび隊による交通安全教室、また、散歩時や交通安全に関する紙芝居を活用した交通安全指導を実施している。
問 道路標識のサビが酷くて標識の役割をなさないものがある。
答 地域支援課長 毎
年のように撤去してほしいと要望がある。地域支援課で撤去するが、基礎と支柱まで撤去できないものもある。現在、道路標識は警察しか立てられないので、町は注意喚起目的の立て看板を設置している。

【その他の質問事項】
◆デジタル教科書導入について



問 消防団の活動は。
答 地域支援課長 平
常時の活動は、多岐にわたり、主に月2



議員 将 橋本

自転車用ヘルメットの助成制度はあるか

答 助成制度はないが小学校卒業生に配布している

命を守る政策を

問 自転車用ヘルメットの助成制度を設けている市町村があるが、町も同様の制度はあるか。
答 地域支援課長 県
下に助成制度を設けている市町村は増えてきているが、本町にはない。しかし、平成27年度から小学校卒業時に卒業生に配布している。

再問 小学4年生くらいから自転車で移動する機会が多くなる。小学4年生にも配布できないだろうか。
再答 地域支援課長 配
布しているヘル

公園の整備について

問 子ども達が安全に安心して遊べる公園を整備して欲しい。
答 まちづくり整備課
長 駅西口公園を低年齢児でも安心して遊ばせることができるよう整備を進めている。

非常に要望の多い大型遊具は、比較的整備が整っている公園に整備することを計画している。
再問 ヘルメット普及の
為、配布しているヘルメットのデザインを変更する事は可能か
再答 教育長 安全性と
経費を維持できれば、普段着用しやすいようなヘルメットについては、研究に値する。
再問 ヘルメット普及の
為、配布しているヘルメットのデザインを変更する事は可能か
再答 教育長 安全性と
経費を維持できれば、普段着用しやすいようなヘルメットについては、研究に値する。
再問 公園にトイレや駐
車場の設置予定はあるか。
再答 まちづくり整備課
長 トイレや駐車場のない公園に新たに設置の予定はないが、令和4年度に4施設においてトイレの洋式化、電灯のLED化等の工事をを行った。
再問 7、8月の間町内の公園は雑草の背丈が伸び、大人でも入れない施設があった。今後の対応は。
再答 まちづくり整備課
長 町管理の都市公園は、年2回シル



自転車用ヘルメットは軽くてデザイン豊富！



出典：警視庁ホームページ

【その他の質問事項】
◆電気自動車について
◆学校の修繕について



竹内 隆哲 議員

起業支援とその取り組みについて

答 起業セミナー、企業就職相談会を開催する

個人の独立・
就業支援を

問 起業セミナーや創業塾の開催等、今後のイベント等の予定は。

答 企業支援課長 現在、町では起業セミナーとして、嵐山町商工会が主催する「らんざん創業塾」を開催している。これは、起業を目指す方や起業後1年未満の方を対象として、例年10月に中小企業診断士等の有識者を講師に招き、起業に必要な「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」についての勉強会を実施するものである。他

に、小川町と共同で起業創業セミナーを年1回開催している。来年度も同様に、10月頃開催する予定である。

問 就職支援セミナーの来年度の目標は、企業支援課長 7月8日に開催された嵐山町企業就職相談会は、10社の町内企業と27名の求職者が参加し、5名の方が採用された。来年度の目標について具体的には定めていないが、多くの求人企業・求職者についてマッチングが図れるように取り組んでいきたい。

公共施設について

問 又エックの利用状況は、コロナ前の半分と聞けが、町の公共施設の利用状況は。

答 生涯学習課長 交流センター・スポーツ施設共に、令和元年度までと比較すると、令和2年度から新型コロナウイルスによる感染症の蔓延による対応もあり、多くの施設で利用回数が減少した。令和4年度からは様々な規制が緩和され、利用者数は回復傾向となった。更に5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことにより、コロナ禍前の水準に戻

りつつある。

問 現在休止中だが、又エックではネット予約ができていた。町でもネット予約を開始する予定は。

答 生涯学習課長 現在のところ導入予定はないが、将来的に必要となる可能性が高いことから、調査・研究をしていく。



以前はネット予約のできた又エックテニスコート=R5.12.14



宮本 大裕 議員

学校再編の進捗状況と今後の方針は

答 町内外に誇れる教育を進めて行く

夢のある
学校再編を！

問 住民説明会について

答 教育総務課長 地域説明会3回、保護者説明会5回、合計8回実施し、参加人数172人。多くの質問や意見をいただいた。

再問 今回の説明会では各課長が出席し、町の強い意志を感じた。今「基本計画」が示され、学校再編が次の段階へ一歩進んだのか。

再答 教育長 しっかりと一歩進んだつもりだが、町民の声に一つひとつ丁寧に対応していく。

再問 「基本計画」に、「統合準備委員会(仮

称)を立ち上げる」とあるが、いつ、どんな方法で進めるのか。

再答 教育長 来年度組織を立ち上げ、統合に関する準備を進める。しかし準備委員会という一つの組織で全てをカバーするのでなく、教育課程は教員を中心に、通学は学校と保護者、PTAなど、作業部会をたくさん作り、また子どもたちの聞きながら進めていく。

問 跡地利用について

答 総務課長 今後、町民の方から意見を聞き、「学校再編プロジェクトチーム」で検討する。

再問 跡地利用については、建設的な方向性をなるべく早く示すべきだと思うが。

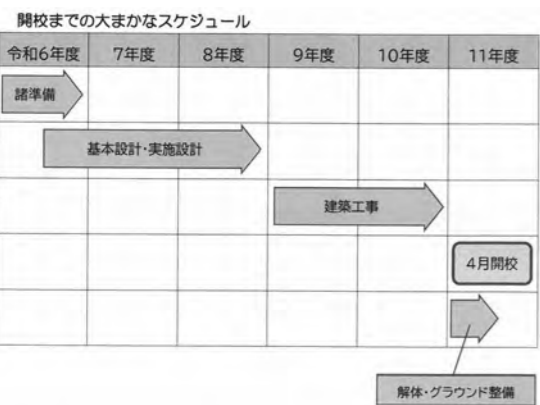
再答 総務課長 「基本計画」の説明会後、町民の方々からの意見を聞くとともに、市街地調整区域内であることを含め検討を進める。

問 新学校の教育方針について

答 教育総務課長 これまで小中連携から小中一貫教育に取り組んできた。これを一層充実できると考える。9年間の教育の中で、小・中学校の良さを活かした6・3制の教育課程を進める。「こころ」と嵐山を愛し、夢と志を持ち、可能性に挑戦する、心豊かた、くましい子どもを目標とし、グローバル化に対応する教育と、歴史や自然を生かした魅力ある教育活動を推進する。

答 教育長 グローバル化に対応する力が大事と考える。しかし地域のことや自分の評価を知って、それを語る人間でないと、グローバル化の対応には進めない。町が持っている自然の素晴らしさや、郷土の持つ教育資源をしっかり子ども

達に伝え、誇りをもって郷土を語る子どもを育てることが、新校のグローバル化に対応する姿勢であると思う。また小中一貫教育の中で小学校高学年の教科担任制など諮問を取りながら、町内外に誇れる教育を進めて行く。



出典：嵐山町立小中学校再編基本計画



佐藤 弘美 議員

子育て支援センター事業の拡大は

答 利用者の状況等により検討

子育て支援の充実を！

問 直近3年間の推移は。

答 福祉課長 「子育て広場レピ」の利用推移は、保護者及びお子様の延べ利用人数で

令和2年1202人、令和3年2018人、令和4年2713人と増加傾向である。

再問 10時から16時までオープン時間にすれば、お弁当持参にすることも可能だが。

再答 福祉課長 利用状況を踏まえて検討

していく。

再問 比企郡の中でお昼も食べられる支援センターは。

再答 福祉課長 小川町の「ココット」現在コロナの関係で中止している。

再問 岸田総理も「異次元の子育て支援」を主張している。調べたところでは比企郡内2か所。嵐山町がどんどん先を行って変える考えは。

再答 福祉課長 勤務している人数が厳しい状況。保育士3名プラス1名で可能かどうか今後探っていく。いずれにしても状況的に「子育て支援」は拡大の方向で検討し

たい。

問 子育て広場レピの開所日拡大やオープン時間の延長など、事業拡充の予定は。

答 福祉課長 令和3年度までは週2日だったが、令和4年度

お子さんが5か月ならばママ年齢は5か月。だから完璧じゃなくても大丈夫。

月	日	休	休	休	休	休
12	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

ご利用時間表
 平日 10:00～16:00
 土曜 10:00～16:00
 日曜 10:00～16:00
 年末年始 休業
 12月25日(木) 12月26日(金) 12月27日(土) 12月28日(日) 12月29日(月) 12月30日(火) 12月31日(水) 休業

より従前から実施していたイベントやふれあい教室を定期的開催日程に取り込み、事業の拡充を図ってきた。今後は利用者の状況等により検討していく。

飯能市の地域子育て支援拠点「いるかひろば」では、お弁当を持参すれば食べることができる＝出典：いるかだより



渋谷登美子 議員

学校トイレの洋式化を

答 修理の必要なトイレから内部で検討する

学校統一的なものとして、今のトイレ問題解決しよう

問 学校統合計画があるが、早急に学校トイレは洋式化、臭いの問題は解決すべきである。対応は。

答 教育総務課長 菅谷小トイレの臭いは教育活動に支障が出るので原因を探り対応する。トイレの洋式化の具体的な計画はない。必要な修繕を行う際に検討する。七郷小は水道配管の全面的改修が必要である。大規模工事となり、学校生活に影響が出るため、予定していない。洋式化は必要な修繕を行う際に

検討する。玉ノ岡中、菅谷中のトイレの洋式化の具体的な計画はない。

再問 トイレの洋式化は、10数年前から指摘されていた。入学前に家庭にはない和式トイレの使い方を教えるのは困難。各学校各階のトイレを1基でも洋式化し、増やす必要がある。菅谷小だと12基のトイレ設置。1基100万円として、1200万円である。予算計上は。

再答 教育長 小さな額ではない。

小中学生の遠距離通学について

問 (1)中学生の遠距離自転通学は荷物が重く危険。持ち物の配慮が必要だが対応は。(2)小学生の持ち物は重く、遠距離通学では負担が大きい。配慮は。

答 教育総務課長 (1)各中学校で通学時の荷物が重くならないように、家庭に持ち帰る必要のない教材は学校において帰るよう指導している。重量バランス、操作性、転倒防止の観点から、荷台に直接固定するか取り付けたカゴに入れるように指導している (2)登下校の平均時間は

概ね20分。遠距離通学の子は菅谷小50分、七郷小40分、志賀小30分。使用頻度の少ない学習道具・教材は学校においていく指導をしている



家庭のトイレとは違いすぎる 菅谷小和式トイレ=R5.10.25

【その他の質問事項】
◆国保会計について
◆ゼロカーボンシティ宣言とストップ温暖化条例について



青柳 賢治 議員

違った意見こそよく聞き説明を尽くし、未来へ。

問 学校再編基本計画(案)パブリックコメントの内容と今後の工程を聞く。

答 教育総務課長 22人の方から意見の提出があった。主な内容としては、統合後の新校位置の変更、通学路の安全性、丁寧な説明会の実施、再編計画の早い実施、クラス替え可能な学校規模へ、スクールバスの運用に係る要望等、大変多岐にわたるものであった。これら一つひとつのご意見に対し、教育委員

再編後の学校の将来像を示し理解を求めよ

答 ていねいな説明に徹し、声を反映させる

富山重忠公偉人マンガについて完成

問 町の誇れるマンガとして、活用を聞く。

答 生涯学習課長 公益財団法人B&G財団の「海洋センター」が、富山県内各自治体による偉人マンガの製作と活用事業に補助率10割の助成事業を活用し、2000冊製作。助成の必須要件として、完成したマンガを学校教育で活用することが求められているため、町内各小中学校の児童生徒に配付し、授業等で活用する予定である。

手持ち冊数とその先は、生涯学習課長 150冊ほどでそのような声が多く上げられは増刷も考える。



菅谷館重忠公像の碑文(右)は冠題百字碑文と呼ばれ「富山重忠公正路を踏んで議にあう」題を形成する。

【その他の質問事項】
◆町所有備品等の効果的な貸し出しについて
◆人生100年時代に自治体のできる支援について



小林 智 議員

再編踏まえて水泳授業の民間委託活用は

答 小学校は菅谷小プール、中学校は民間委託継続

学校プール授業の現状と民間委託について

問 今年度の水泳授業の状況と学校プールの現況は。

答 教育総務課長 今年度の水泳授業は志賀小と七郷小は志賀小プールで、菅谷小は菅谷小プールで各学年平均8時間。中学校は菅谷中・玉ノ岡中とも東松山スイミングスクールでの民間委託を活用して、各学年2時間×3日分の授業を行った。志賀小のプールは老朽化が進み、維

持が難しくなっている。学校再編と水泳授業の合理化を踏まえ、民間委託の活用、拡大の考えは。

答 教育総務課長 プールの維持管理は修繕や水道料等の経費がかかるほか、教職員にとってもプール管理が大きな負担となっており、多くの学校で民間委託が検討・実施されている。

学校再編により小学校は菅谷小プールを使用、中学校はプール建設の予定はないので当面は民間委託を継続していく。

学校150周年記念事業の取組みについて

問 七郷小学校では今年150周年を迎え、学校長はじめ教職員・児童の努力により、「鶴巻行進曲」の復活など様々な学校行事に取り組まれている。町教育委員会での周年事業への取組み支援について伺う。

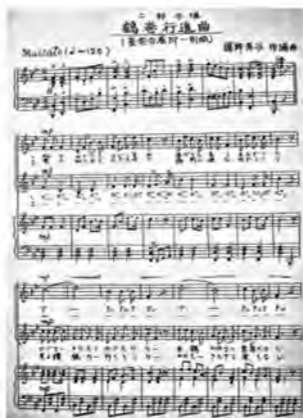
答 教育総務課長 周年事業はPTAや実行委員会等を中心に実情に応じて行われており、教育委員会としても必要に応じて支援していく。菅谷小学校は令和6年に150周年を迎え、式典等を実施予定である。

「鶴巻行進曲」をご存じですか？
～創立150周年という節目の年に復活へ～
過日、耐火書庫の中を整理していたところ、厳重保管されている大変古い重要書類の中から「鶴巻行進曲」という合唱と器楽合奏の楽譜を見つけました。これは、昭和29年に当時の校長であられた藤野秀谷校長先生による作曲、そして作詞は七郷中の元校長安藤専一先生によるもので、七郷小学校の応援歌だったということがわかりました。
(一部省略)
そこで、私は今年が創立150周年という節目の年であることから、この「鶴巻行進曲」を復活させたいと考えました。

鶴巻行進曲

作詞 安藤専一
作曲・編曲 藤野秀谷

- 1 松のみどりに育まれ 希望の光 仰ぎつつ 日頃鍛えし 技長けて 若鷲われら 意気高し 七小 七小 いざ七小
- 2 若き血潮をたぎらせて 勝利に進むわが力 見よ精鋭の行くところ われをささぎる雲もなし 七小 七小 いざ七小



学校だより「鶴巻の岡」R5年9月号より(許可を受け一部抜粋)



藤野 和美 議員

学校再編等審議会での小規模特認校の議論は

答 特化しての議論はされていない

約60億円にもなる学校再編。しっかりと議論を。

問 学校建設基金への2億円の積み立ては。

答 総務課長 予算を確保して継続していく。

再問 町民が期待する事業を抑制することにならないか。

再答 総務課長 必要な事業予算を確保した上でのことである。

問 校舎建設以外の関連費用の見込みは。

答 総務課長 交通安全対策事業2億9180万円、スクールバス運行経費年間2000万円などである。

再問 学校再編は校舎建設だけでも約60億円を必要とする町の一大事業であり、30年後まで返済が続く。財政の見通しは。

再答 総務課長 企業誘致や人口減対策などに取り組んでいく。30年後の予測はできないが、10年計画をつくり毎年見直していく。

問 七郷小を小規模特認校とする考えは。

再答 総務課長 企業誘致や人口減対策などに取り組んでいく。30年後の予測はできないが、10年計画をつくり毎年見直していく。

再問 複式学級対策としても小規模特認校の制度があるのに、議論がされていないので

再答 教育長 特化しての議論はされていない。

再問 審議会では議論されたのか。

再答 教育長 審議会で小規模特認校は議論されたのか。

再問 教育長 特化しての議論はされていない。

再問 複式学級対策としても小規模特認校の制度があるのに、議論がされていないので

再答 教育長 特化しての議論はされていない。



農村部にある七郷小学校=R5.12.13

は前提が崩れている。一般論としても農村に学校は必要ではないのか。

再答 教育長 学校は必要と考えるが、今回は審議会の答申やこれまでの取り組みの経緯によって計画したものである。

再問 教育長 学校は必要と考えるが、今回は審議会の答申やこれまでの取り組みの経緯によって計画したものである。

再答 教育長 学校は必要と考えるが、今回は審議会の答申やこれまでの取り組みの経緯によって計画したものである。

再問 教育長 学校は必要と考えるが、今回は審議会の答申やこれまでの取り組みの経緯によって計画したものである。

再答 教育長 学校は必要と考えるが、今回は審議会の答申やこれまでの取り組みの経緯によって計画したものである。

学童保育について

問 現状は。

答 福祉課長 令和5年度は、小学5年生4名が待機となっている。

問 居場所の確保は。

答 福祉課長 教育委員会とも連携しながら

再問 居場所の確保は。

再答 福祉課長 教育委員会とも連携しながら

から考えていきたい。

再問 地域の協力を得る考えは。

再答 福祉課長 放課後子供教室の事業充実と並行していくことで、可能性はある。

再問 放課後子供教室の事業充実と並行していくことで、可能性はある。

再答 福祉課長 放課後子供教室の事業充実と並行していくことで、可能性はある。

再問 放課後子供教室の事業充実と並行していくことで、可能性はある。

再答 福祉課長 放課後子供教室の事業充実と並行していくことで、可能性はある。

再問 放課後子供教室の事業充実と並行していくことで、可能性はある。

再答 福祉課長 放課後子供教室の事業充実と並行していくことで、可能性はある。

再問 放課後子供教室の事業充実と並行していくことで、可能性はある。

再答 福祉課長 放課後子供教室の事業充実と並行していくことで、可能性はある。

【その他の質問事項】

◆会計年度任用職員について



吉本 秀二 議員

町民の健康寿命の現状と延伸対策の方向性は 県下平均以下、今後も必要な対策を実施する

給食費の公会計化で先生と保護者の負担軽減を

問 健康寿命の延伸には、健康診査受診率を上げ、疾病の早期発見、早期治療、重症化予防対策が重要だが、町の健康診査受診率が□□ナで急落している。対策は。

答 健康いきいき課長 令和3年、4年と微増している。40歳代と50歳代の受診率が低い。対策として40歳から55歳の方に無料受診券を出して受診促進を図っている。

再問 健康いきいき課長 令和3年、4年と微増している。40歳代と50歳代の受診率が低い。対策として40歳から55歳の方に無料受診券を出して受診促進を図っている。

再答 健康いきいき課長 令和3年、4年と微増している。40歳代と50歳代の受診率が低い。対策として40歳から55歳の方に無料受診券を出して受診促進を図っている。

再問 健康いきいき課長 令和3年、4年と微増している。40歳代と50歳代の受診率が低い。対策として40歳から55歳の方に無料受診券を出して受診促進を図っている。

再答 健康いきいき課長 令和3年、4年と微増している。40歳代と50歳代の受診率が低い。対策として40歳から55歳の方に無料受診券を出して受診促進を図っている。

再問 健康いきいき課長 令和3年、4年と微増している。40歳代と50歳代の受診率が低い。対策として40歳から55歳の方に無料受診券を出して受診促進を図っている。

再答 健康いきいき課長 令和3年、4年と微増している。40歳代と50歳代の受診率が低い。対策として40歳から55歳の方に無料受診券を出して受診促進を図っている。

学校給食費補助金

問 給食費の未納や申請期限を過ぎたために、補助金を受けられなかった家庭はあるのか。

答 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再問 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再答 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再問 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再答 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再問 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再答 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再問 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再答 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再問 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

再答 教育総務課長 半額補助家庭と全額補助家庭ともに数件ある。

納が続けば、児童手当の支給の際、教育総務課が窓口で納付をお願いしている。

再問 比企管内の学校で給食費を公会計化している。町の考えは。

再答 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再問 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再答 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再問 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再答 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再問 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再答 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再問 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再答 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再問 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。

再答 教育長 徴収システム導入等、他課との協議の必要もあり、また、問題やメリットをよく認識し、それらを踏まえて対応する必要がありますがあるので、関係課とも連携して検討していきたい。



元気はつつつ体操教室=R5.12.13

※学校給食の公会計化とは、学校給食費を地方公共団体の会計に組み入れること。

12月定例会 傍聴者の声

※声は要約しています

初めて傍聴させて頂きました。町職員、議員とのやりとり、とても新鮮な気持ちで傍聴いたしました。もっと早くから来れば良かったと思いました。勉強になりました。

歳をとるにつれて、車から歩いての生活に入っていくことで、地域の交通安全はどのようになっているのだろうか、と関心があり、車で役場に行く人に乗せて頂き傍聴しました。とても詳しく、はっきりと答える姿に安心と希望を感じています。

3日間の傍聴は、大変勉強になった様に思います。議員の方々の幅広い視点での質問や行政側の答弁は、町の現状を知る良い機会になりました。

内容の濃い質問や答弁、大変参考になりました。特に国保会計と学校再編。嵐山町の現状をより深く知る事が出来、出席出来て良かったです。

議場コンサートが今回の傍聴席に着く機会になりました。議会だよりである程度議員の方々の意見は見ておりましたが、生の声での質問やそれに対する町の考え方を聴く事が出来、参加して良かったです。

議会モニターを募集します

町議会では開かれた議会をめざし、町民のみなさまの声を議会に反映させる取り組みの一環として議会モニターを募集します。

- 募集人数 若干名 ※応募多数の場合、抽選
- 資格 町内在住の満18歳以上の方
- 主な職務 議会等を傍聴、意見交換会に出席するなど
- 任期 令和6年4月1日から2年間
- 応募期限 3月15日(金)までに電話(0493-62-4587)またはE-mailで住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記のうえ、ご応募ください。
- E-mail r-gikai@town.ranzan.saitama.jp



次回の定例会は 2月26日(月)開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしております。
 請願・陳情は 2月15日(木)午後5時までに提出してください。

小川地区衛生組合議会

11月20日(月) 令和5年第3回臨時議会が小川町議会議場にて開会され、提出された議案2件は原案通り可決されました。

●議案第12号

小川地区衛生組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について
 適正処理困難物(スプリングヘッド等)の指定及びし尿処理業者の許可に関する規定を追加し、手数料及び文言整理等を行うもの。

●議案第13号

令和5年度小川地区衛生組合一般会計補正予算(第2号)

適正処理困難物処理費に伴う納付券印刷費として予備費から55万円を支出するもの。

編集後記

秋から年末年始にかけて、町民の皆様には多くのイベントにご協力頂き、ありがとうございました。

12月の定例会も終わり、多くの議案について議会で審議がありました。昨年は特に、議員選挙もあり、現職の議員は4年間の成果を、新人議員は特段の思いがあったと思います。傍聴席にも、多くの町民の方がお見えになりました。

町民の皆様にも、お伝えしなければならぬ事が沢山ございます。ぜひ、議会に関心をお持ち頂いて、より良い嵐山町を目指していききたいと思います。

今年も、皆様のご参加を頂いて、議会の運営を進めて行きます。よろしくお願ひ致します。(竹内)